

効率化へ紙資料廃止

杵築市議会が 県内で初めて



9月定例会に向けて議員に配られた
タブレット端末1129台、杵築市議会

杵築市議会は、9月定例会からタブレット端末を導入し、紙の資料を使わないペーパーレス化をする。事務の効率化や紙の削減を図るのが狙い。同議会事務局によると、県内の議会では初めてという。

タブレット端末は議員（18人）と議会事務局に計22台を導入。議案書や予算書などの資料をデータで保存し、本会議や委員会など

中山田昭徳議長は「皆さんの資料を持ち運ぶ必要がなく便利。情報の共有もしやすく、うまく活用したい」と話している。

この際はそれを見る。これまでファックスでしていた事務連絡は専用アプリを利用して、議員は自宅にいらなくても受け取れるようになる。事業費は約400万円。

執行部は2014年から試験的に使用しており、議会への導入は議員が要望した。12月定例会までは紙の資料と並行して利用する。

(2017年8月30日付朝刊県政面)

① 記事から読み取れるペーパーレス化のメリットを、記事中の言葉を使って説明しましょう。

② 学校の連絡帳や連絡ノートがもしも、タブレット端末になったら、どんなメリット、デメリットがあるでしょうか。両方を自由に考えてみましょう。